

教育委員意見交換会

日時 令和3年10月26日(火) 午後2時00分～午後4時10分

場所 本館3階大会議室2

出席者 日渡教育長、河盛委員、宮本委員、鈴木委員、新谷委員、長田委員
(事務局)山崎教育次長、松下教育監、橘理事

中山総務部長、長山教職員人事部長、江戸学校教育部長

藤本教育センター所長、橋本教委総務課長、志波教職員人事課長

桑田学校指導課長、成澤学校 ICT 化推進室長

永木教育政策課長、至田教育政策課長補佐、木村企画係長

案件

- ・GIGAスクールの進捗状況について
- ・令和3年度堺市教育委員会表彰(職員栄誉の部・業務功績の部)の被表彰者の決定について
- ・第2回総合教育会議について
- ・教育委員会会議の議決案件に関する変更について
- ・オンライン英会話について
- ・損害賠償の額の決定について
- ・堺市特定事業主行動計画(堺市職員の子育て・女性活躍支援プラン)の改定について
- ・令和4年度堺市立学校教員採用選考試験の結果について

GIGAスクールの進捗状況について

GIGA スクールの進捗について、緊急事態宣言の影響等のため、突発的な事象への優先対応があり、集合型の教員研修、情報活用能力の指標作成などいくつかの取組のスケジュールが遅れ気味である。また、日本語指導や支援学級への支援アプリのインストールについても課題が見つかり、スケジュールとしては遅れている。今後、順次対応していくとともに、児童生徒用パソコンの授業での活用状況について、適切な時期に、2回目の教員調査を実施したいと考えている。

(主な意見)

・GIGA スクールサポーターの活用については、集中と分散をさせることによって効率が上がる部分があるように思う。聞き取りをしっかりと行い、効率的な配置を検討してほしい。

・現在最も重要視している取組は何か。

⇒教員の研修が遅れているので、注力して進めたい。

・例えば、学習計画、学習履歴については「ドリルパーク」を活用しているけれども、効果的に活用しているのか検証する必要がある。その他、いろいろな事情で遅れている取組は、再度計画を立て直す必要がある。今後のスケジュールはどうか。

⇒今年度の各々の取組の目標を踏まえて、進捗状況を見ながら進めていく。その際、遅れている原因によ

ては来年度の計画にも変更が生じるので、しっかり見極めていきたい。

・学校 ICT を推進するうえで、1 人技術的に優れた者がいると、その者が中心となって進みやすいということがあがあるが、各学校で教員の中で ICT スキルの高い人をリーダーにすると効率的に進むのではないかと思う。多くの教員を教育するより、各校でリーダー的な役割を担える優秀な 1 人を教育するほうが効率的だと思う。

・1 人 1 台パソコンがいじめの温床にならないように研修が必要。情報モラルに関するトラブルの報告は出ているか。

⇒いじめなどに関するトラブルは聞いていないが、情報モラルにかかる取組は計画している。また、他市で端末がいじめに使われた報道があった後、即時に学校に対して対応するように通知を出した。

・自身が保護者であるが、学校からアカウント設定の説明のプリント一式と堺市の ICT 教育の対応についての手紙、プリント一式を頂いたきりで、その後何の説明もないので保護者としては運用がしっかりとできていない印象をもつ。家庭へ持って帰る頻度、活用の仕方などが各学校に任せられているのか。

⇒家庭へ持って帰る頻度は学校によって差がある状況。市民への周知について各学校のホームページ等で活用内容等を紹介している学校もある。活用や周知についても学校によって違いがある状況である。

令和 3 年度堺市教育委員会表彰(職員栄誉の部・業務功績の部)の被表彰者の決定について

本市教育の推進、多大な効果、便益をもたらし、顕著な業績を上げた職員に対して令和 3 年度教育委員会表彰を行うに当たって、令和 3 年 10 月 15 日開催の表彰審査会で被表彰者を決定したので報告した。

(主な意見)

なし

第 2 回総合教育会議について(※前回の振り返り及びテーマ説明)

第 1 回総合教育会議の教育長、各委員発言概要まとめ、振り返りをした。第 2 回総合教育会議は第 1 回より具体的な提案をし、議論をしたいと考えている。

(主な意見)

なし

教育委員会会議の議決案件に関する変更について

いじめの重大事態に関する調査の手続の変更について、現状の意思決定の手続きでは、第三者委員会への調査については、議案として教育委員会会議に上程していたが、実際には、即対応が必要であったために教育長の臨時代理で決裁した例も多かった。今後は、実態に合わせ教育長の専決とするように変更する。また、いじめ重大事態については、第三者委員会調査も学校調査もどちらも教育委員会会議で報告する。

(主な意見)

なし

オンライン英会話について

児童生徒および教員への 2 回のアンケート結果を分析した結果を踏まえ、令和 4 年度の方向性の案として、小学校においては、子どもの英語力、コミュニケーション力など発達段階を鑑みオンライン英会話を実施せず、まずは英語に慣れ親しみ、英語が好き、楽しいという意欲を高めることを最優先に、引き続きネイティブ

スピーカー(NS)を中心とした活用を行う方向で検討。中学校においては、モデル実施を拡充し英語力に苦手意識がある子どもへの対応といった課題にも対応させた新たな内容で検証を行い、NS等とのベストミックスによる効果の最大化を目指していく方向。

(主な意見)

・令和4年度の案で、オンライン英会話の授業形態を、グループをなくし、マンツーマンのみにした理由は何か。

⇒グループの場合、英語を話すことを苦手になっている子どもが話せず参加できていない場面が多く見受けられた。習熟度を高めたアウトプット型や三段階程度の難易度別型の授業にすることを考えている。

・英語に苦手意識がある子どもにとっては、グループで授業をすることによって、助け合うことにより、かなりのプレッシャーの負担が軽減される場合もある。グループの指導を否定できないと思う。

アンケート結果からみると、オンライン英会話は小学校のほうが中学校より多数の子どもが楽しんでいる実態がある。小学校ではオンライン授業をしないのか。また、NSを活用することでは、細かな指導になるかどうかというところは検証するべき。

⇒限りある予算の中で検討しなければならず、令和4年度は、小学校はNSのみとし、中学校では複数の内容でモデル校を拡充したいと思っている。この先ずっと小学校ではオンライン授業をしない、グループもしないということではなく、委員の意見もしっかり聞いて、令和4年度の取組の結果はまた分析し、報告する。

損害賠償の額の決定について

校内敷地の除草作業中に近隣住民の所有する車両及び家屋を損傷させたため、相手方に損害賠償をする。

(主な意見)

・再発防止に努めてほしい。

堺市特定事業主行動計画(堺市職員の子育て・女性活躍支援プラン)の改定について

特定事業主行動計画が令和3年度で計画が満了することから、市全体として堺市職員の子育て並びに女性活躍の支援プランの改定作業を進めているところ。「男性の育児休業の取得率」、「管理職に占める女性の割合」を定めるという中で、委員の御意見をいただきたい。

(主な意見)

・教職員の長時間勤務の状況は深刻であり、教育現場では育休取得を言い出せないような雰囲気があるのではないかと考えると、そこに何らかの支援を入れていけば、取得率を上げていくことができるのではないかと。男性の教職員が育児休業を取るということは、教育的にも、今後の日本のあり方に関しても、子どもたちに示していける。

・働き方改革とリンクさせないわけにはいかない。少なくとも男性の3人に1人は育児休業を取るというくらいでないと、学校が変わっていく雰囲気になっていけないと思う。男性が人事課に「子どもができました。」と報告したときに、「育児休業どうしますか」と聞くだけでも、育児休業を取る権利が自分にはあったのだ、と男性が意識するので、そのようなことから始めればよいのではないかと。また、管理職の理解も必ずセットで考えていく必要があるのではないかと。

・「管理職に占める女性の割合」を上げるために、メンター制度はあるか。

⇒「なぜ管理職になりたくないか、あまり興味がないか」ということについて、アンケートでは女性の役職者の

ロールモデルが見受けられないという意見もあり、課題と思っている。メンター制度、あるいは交流会でロールモデルとなる女性職員とのやり取りができるような機会を作って、その機運を高めていけたらと思っている。

令和4年度堺市立学校教員採用選考試験の結果

10月15日(金)に令和4年度の教員採用選考試験の合格発表を行ったので、結果を報告する。倍率は全体で5.3倍、小学校4.6倍、中学校5.9倍で、一定の倍率は確保できたものとする。

合格者の内訳は、現役生の割合よりも講師等の教職経験者の割合が大きく、25歳以下の割合が7割近くを占めており、比較的若い講師の合格が多かったと分析している。

(主な意見)

・来年度以降、GIGAスクールを前提にしたときに、一定程度の知識・スキルを測るような選考試験を検討していただきたい。